

広域振興局長

提出者 株式会社 Aコープ東日本
 住所 〒245-0014 神奈川県横浜市泉区中田南3-2-38
 氏名 代表取締役社長 宗村 達夫

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	株式会社Aコープ東日本 岩手営業所	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	盛岡市仙北二丁目5-4	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,828 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	102 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
JAファーマーズいわて平泉	〒021-0032 一関市末広1-2-6	313 kℓ
Aコープ飯岡駅前店	〒020-0834 盛岡市永井20-3-1	231 kℓ
Aコープひがしやま店	〒029-0302 一関市東山町長坂字西本町123-2	147 kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（△4）

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合の記載欄

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
Aコープごしょ店	〒020-0583 岩手郡雫石町西安庭40-48-1	124 kℓ
Aコープゆざわ店	〒020-0844 盛岡市湯沢東1-3-11	120 kℓ
純情市場さつこら／岩手営業所	〒020-0861 盛岡市仙北2-5-4	84 kℓ
Aコープゆぐち店	〒025-0042 花巻市円万寺法船134-3	74 kℓ
セレモニーホールいわて	〒020-0861 盛岡市仙北2-5-4	66 kℓ
Aコープふじさわ店	〒029-3405 一関市藤沢町藤沢字町裏99-2	60 kℓ
ギフトセンター	〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南2-5-2	27 kℓ
ギフトセンター(県南)	〒023-0035 岩手県奥州市水沢赤土田14-1	15 kℓ
新しいわて食材宅配センター	〒028-4132 岩手県盛岡市洪民字鶴飼1-1	686 kℓ
岩手中央食材宅配センター	〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南2-5-2	89 kℓ
花巻食材宅配センター	〒025-0011 岩手県花巻市矢沢5-239-1	385 kℓ
遠野食材宅配センター	〒028-0541 岩手県遠野市松崎町白岩15-10-1	426 kℓ
奥州・江刺食材宅配センター	〒023-0829 岩手県奥州市水沢花園町2丁目8-15	576 kℓ
平泉食材宅配センター	〒021-0002 岩手県一関市中里字上大林157-1	405 kℓ
		kℓ

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D・C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ					
揮発油	kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ					
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ					
灯油	15.8 kℓ	15	2.49 t-CO ₂ /kℓ	39.3	14.9	164		
軽油	kℓ		2.58 t-CO ₂ /kℓ					
A重油	kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	299 t	392	3.00 t-CO ₂ /t	897.1	213	321	
	石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³				
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO ₂ /t				
	その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³				
石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t				
	一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t				
	無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t				
石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t					
コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t					
コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³					
高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³					
転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³					
その他の燃料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³				
	()	()		t-CO ₂ /()				
	()	()		t-CO ₂ /()				
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計		407		936.4	227.9	311		
電気	電気事業者	昼間買電	11081 千kWh	2850	0.488 t-CO ₂ /千kWh	5407.5	1638.8	230
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	9718 千kWh	2500				
		夜間買電	2386 千kWh	571	0.488 t-CO ₂ /千kWh	1164.4	361	223
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO ₂ /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計	13467 千kWh	3421		6571.9	1999.8	229		
合計		3828		7508.3	2227.7	237		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量	千kWh			t-CO ₂ /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

電気料金の大幅な値上げに伴い、前年以上に節電対策に勤めた。
そのため使用量は減少したが原油換算量の増加に伴い排出量自体は増加に転じたため
更なる節電対策に取り組む。

【具体的な取組状況】

- ・室温が夏季28℃、冬季23℃となるよう、こまめに温度管理を行った。
- ・働き方改革を進め、早めに事業所自体の電気・空調を全て切れるように努力した。
- ・使っていない場所の電気は、たとえ短い時間であってもこまめに消すよう周知徹底した。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

※ 前年度は報告していなかった食材センターを追加したため、
全体的に使用料は上がっております。

3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・コピー用紙の使用量の削減(両面コピーの徹底、会議資料等のペーパーレス化)
- ・Web会議の積極的な利用(移動時のガソリン使用削減)

別紙 その2 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

燃料別	自動車		二酸化炭素の排出		燃料使用 量対前年 度比(%)
	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	91 (9)	325,480 ℓ	2.32 kg-CO ₂ /ℓ	755,113.6 kg-CO ₂	315
軽油	11 ()	31,416 ℓ	2.58 kg-CO ₂ /ℓ	81,053.3 kg-CO ₂	102
LPG	()	kg	3.00 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気	()	kWh	0.488 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	102 (9)			836,166.9 kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

・Web会議の実施を勧める等燃料使用削減に努めた。

【具体的な取組状況】

・ハイブリット車がある事業所は、ハイブリット車を優先的に活用し燃料使用量削減に努めた。

・車両運転時はアイドリングストップを実践し、エコドライブに努めた。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

・昨年に引き続き定例ミーティング(週1~2回開催)をWEB会議とすることで、車両燃料費の削減に努めた。